

道路整備により通行規制区間を解除へ

【大宜味拡幅（防災対策）の整備による効果】

平成12年に大宜味拡幅（防災対策）が完成

- ・台風が常襲
異常気象時には大雨による土砂崩れ、強風による落石
- ・沖縄本島北部3村（国頭村、大宜味村、東村）の国道、県道には、通行規制区間が4区間あり、県民生活に大きな影響



通行規制区間（路上越波）の解除を検討

- ・災害から沿道住民や道路利用者を固守
- ・北部地域の暮らしの安住、質を向上



沖縄タイムス 平成12年8月4日

国頭村の土砂崩れ
幹線道路通れず
通院に2倍の時間

【国頭】国頭村、大宜味地区で、大規模な土砂崩れが発生し、幹線道路が寸断された。土砂崩れは、大宜味地区の国道180号と県道100号の交差点付近で発生した。崩れた土砂は、道路を完全に埋め、交通が完全に遮断された。地元住民は、土砂崩れによる被害に苦しんでいる。また、大宜味地区の幹線道路が寸断されたため、通院に2倍の時間がかかるという被害も発生している。地元自治体は、土砂崩れの被害を軽減するため、大宜味地区の幹線道路の拡幅と防災対策を進めている。



拡幅整備前のイメージ



大宜味拡幅 完成写真

トンネル開通により暮らしに安心・質が向上

【於茂登トンネルの整備効果】

昭和62年に於茂登トンネルが開通

- ・石垣市街地と裏石垣を結ぶ於茂登トンネルが開通
- ・空港、港湾、病院、高校等がある市街地へのアクセスが向上
- 最大で45分の時間短縮



暮らしに安心・定住できる環境の改善

- ・救急医療や通勤通学等において、安心・質が向上

朝日新聞 昭和62年3月20日

南北を最短で結ぶ 於茂登トンネル完成

石垣島の中央部にある森内辰太郎の於茂登峠(五二六)を、はじめてする連山の山脈を度き、島の南北を最短距離で結ぶ於茂登トンネルが完成した。二二

於茂登トンネルは五十九年七月にスタートし、大沢、富野の両工口から掘削作業を進め、六十年一月十九日に貫通した。六十年一年度は坑内の舗装や防炎設備、照明設備を完成させた。

大沢工口付近では既設ダム、富野工口では東シナ海が湧き出ていることから、ドライバーが噴水を止めるために両工口に緑地もある休憩所の整備を進めている。トンネル部分の舗装作業は三十四億円。

石垣島の道路網は島をめぐり一網を放つてきているが、於茂登峠と、その進山が交通の大きな障害だった。今回のトンネルの完成で、市街地と裏石垣は約三十分間で結ばれる。

